

「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

【神奈川県の場合概況】

図 10a 当たり予想収量及び作況指数
(10月15日現在)

1 神奈川県における令和2年産水稻の作付面積（子実用）は2,990haで、前年産に比べ50ha減少した。

また、主食用作付面積は2,990haとなった。

2 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数が少ない、1穂当たりもみ数がやや多いことから「少ない」となった。

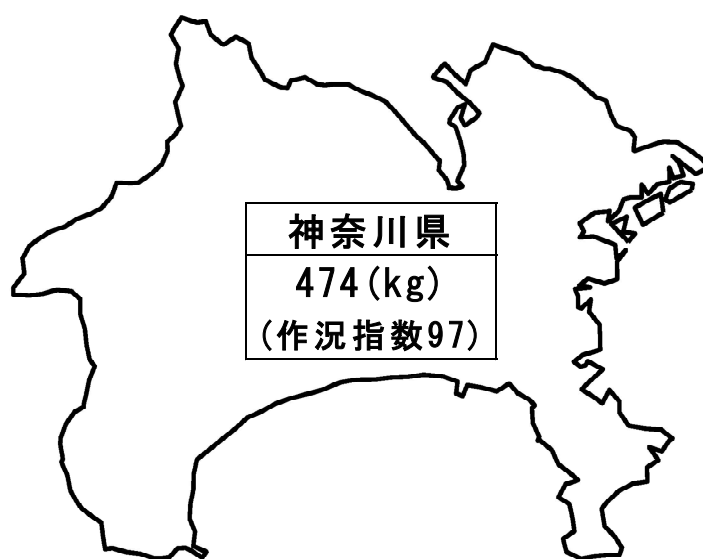
3 登熟は、全もみ数が少ないことによる補償作用及び出穂期以降の天候が良好に推移したことから「やや良」が見込まれる。

4 この結果、神奈川県の10a当たり予想収量は474kgで、前年産に比べ4kgの増加が見込まれる。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された神奈川県の作況指数は97が見込まれる。

5 以上のことから、予想収穫量（子実用）は1万4,200tで、前年産に比べ100tの減少が見込まれる。

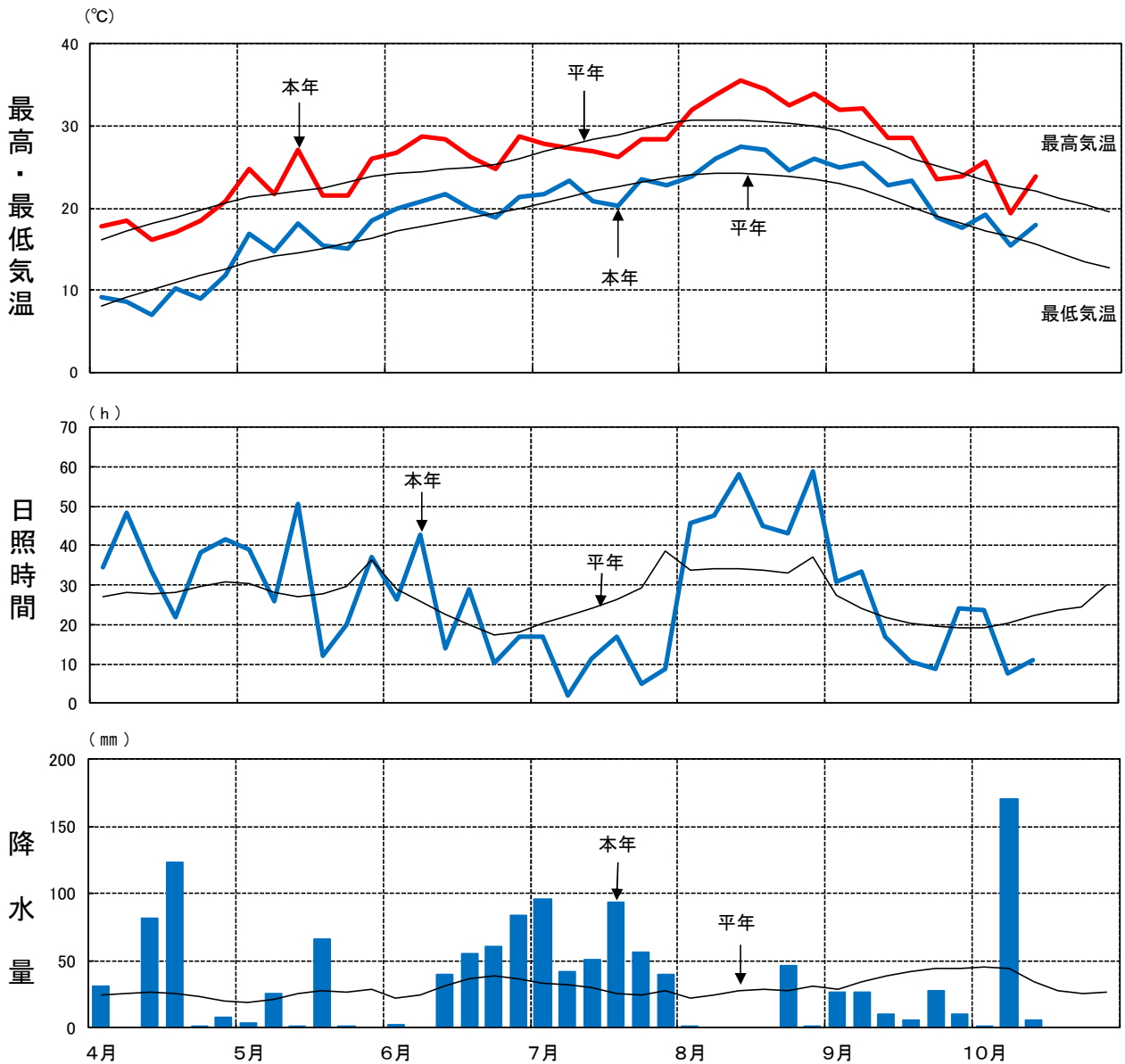
また、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は1万4,200tで、前年産に比べ100tの減少が見込まれる。



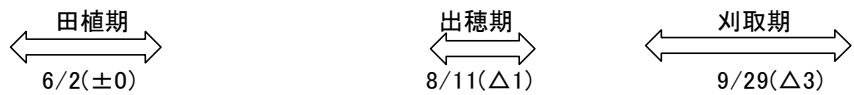
○ この資料は、「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料として作成したものです。
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和2年 半旬別気象（横浜）



資料：気象庁



注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。
 なお、()内は、平年との遅速（日数）を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 神奈川県拠点 統計チーム
 電話：045-211-7174
 F A X：045-212-4680